

進路室を活用しよう！

5月も半ばを過ぎ、1年生は学校に、2・3年生は新しい学年に慣れてきた頃だと思いますが、ここから夏休み前の三者面談までの2カ月が、進路決定にとってとても大切な時期となってきます。

先日行われた第1回の進路希望調査では、「進路未定」という人が少なくありませんでした。まだ決まっていない、もしくははっきりしていないというみなさんは、とにかく考える機会を作ることが必要です。その手掛かりになるのが進路室。今回は進路室の活用方法を紹介します。

《情報の収集》

自分の将来について考えるとき、いったいどんな進学先があるのか、もしくはどんな職業が存在するのか、わからなければどうしようもありません。ここではまず、進路を決定するための材料となる「情報の集め方」について説明したいと思います。

①進路指導室の資料を利用する。

毎年、各大学・短大・専門学校が本校あてに学校案内や募集要項を送ってきて下さいます。これらは進路指導室の本棚やキャビネットの中にまとめてありますので、進路指導室の先生に断って目を通してみましょう。

②受験報告書を利用する。

過去数年間の先輩が書き残してくれた受験報告書（進学・就職）が、進路指導室にあります。どんな試験問題が出たか、面接の様子、質問事項等、詳しく書いてありますので、志望が決定した人は、ぜひ自分が受験する学校や就職先の報告書を確認するようにしましょう。

その他にも……

③進学情報提供業者を利用する。

近年、様々な業者（さんぽう、リクルート、ベネッセ etc…）が生徒のみなさんに資料を送ってくれるようになってきました。おおむね2年の1学期に業者が調査をし、希望者には自宅まで無料で資料（大学・短大・専門学校案内）を送付してくれます。時期に応じて、学校選び、推薦入試要項、一般受験要項が掲載されているので、これらを上手に活用するのも良い手段です。また、学校に送られてきた資料は、進路指導室前の廊下に出しておきますので、1年生も含め、積極的に持っていき、活用して下さい。

④受験雑誌を利用する。

旺文社などが、「蛍雪時代」「看護医療系受験年鑑」といった受験情報誌を発行しています。これらには学部学科案内や入試科目一覧などが掲載されています。進路室には全巻そろっており、重要なもの各HR教室にも置いてありますので、普段から目を通すようにしておきましょう。

⑤インターネットを利用する。

各学校のホームページには、募集要項や過去に出題された問題、入試倍率等が掲載されています。新しい情報が随時更新されていきますので、ぜひ参考にしてみましょう。

《進路指導室の使い方》

進路指導室の資料は多くの人が使うものです。次のきまりを守って、気持ちよく使用するようにしましょう。

【進路指導室使用のきまり】

- ①進路指導室内の資料は無断で持ち出さないこと。
- ②資料や雑誌を見る際は、進路指導の先生に声をかけること。また、見終わったら元あった場所に必ず戻すこと。（ファイルに番号がふってあるので、同じ番号の仕切りに戻す）
- ③部屋の中は飲食禁止です。資料を汚さないようにすること。
- ④パソコンを使用する際は、必ず先生の許可を取ること。
- ⑤入室の時の挨拶、室内での振る舞いは、受験校に面接試験に出かけたことを想定し、礼儀正しく行うこと。